

授業科目 社会福祉援助技術演習Ⅱ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
伊東、村上、横山（豊）、星野、地引		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
<概要> ソーシャルワーク実践の基礎となる技術を学ぶとともに、事例研究などを通して、その援助の過程ごとに必要な援助技術や援助者としての態度などを習得する。					
<学習目標> 1. 自己理解や他者理解、コミュニケーション技法や面接の技法などソーシャルワーク実践の基礎となる技術を学ぶ 2. ソーシャルワーク実践の展開過程から、基本的な援助技術と支援の視点について学ぶ 3. ソーシャルワークの実践事例をとおして、ソーシャルワーカーが備えているべき観察力、理解力、分析・判断力、応用力、計画・企画力などについて考える。					
回数	授業計画又は学習の主題				SBO 番号
1	ソーシャルワーク実践の基本技術を学ぶ（自己理解・他者理解・面接技法・価値と倫理など）				ゼミごとにグループ学習を行う。
2	同上				
3	同上				
4	同上				
5	同上				
6	ソーシャルワーク実践の展開過程の構造を理解するとともに、その過程で適用される援助技術を学ぶ				
7	同上				
8	同上				
9	同上				
10	同上				
11	事例研究で総合的な援助展開方法を学ぶとともに、カンファレンスなど事例研究の方法論を学ぶ				
12	同上				
13	同上				
14	まとめ				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>
教科書		ワークの社会福祉援助技術演習②個人とのソーシャルワーク		ミネルヴァ書房	2003年
参考書		『新 社会福祉援助技術演習』社会福祉教育方法・教材開発研究会編		中央法規	2001年4月 2,500円
その他の資料		必要に応じて教材プリントを配布する			
【評価方法】 出席状況、受講態度、レポートなどを総合的に評価する。			【履修上の留意点】 担当する教員によって内容に相違があるので、担当教員の指導に基づいて学習すること。		